



戦争をなくすために私が思うこと

南関中学校3年 加藤 仁美

なぜ、戦争はなくなるのでしょうか。

私は、戦争を経験したことはありません。しかし、戦争とは、代々伝えられているもので、その怖さや恐ろしさは、私だけじゃなく多くの人知っています。なのに、なぜ戦争はなくなるのでしょうか。戦争をなくすために、私たちには何ができるのでしょうか。

戦争は、多くの人命を奪います。家族や友人など、自分にとって大切な人を亡くし、悲しい思いを抱えて生きていく方も大勢います。

私は、戦争は差別やいじめと同じように、相手の立場にたって考えないことから生まれると思っています。もし、自分が逆の立場だったらどう思うのか。もし、自分の大切な人が戦争によって亡くなったらどう感じるのか。それを考えることができたなら、この世の中にある戦争は、自然になくなっていくと思います。

しかし、人である以上、誰かを憎んだり、嫌いになったりすることはあると思います。

関係する人が行動を起こすから、差別やいじめ、戦争の原因に繋がると思います。行動を起こすと戦争はなくなりません。

私は、行動を起こす、起こさないは、周りの人が影響していると考えています。周りの人の中で、おかしいことに気づき、その人を止めてあげることができたなら、行動には移らないと思います。逆に、その人に荷担して、一緒に行動を起こそうとする人がたくさんいるから、戦争はずっとなくならないと思います。

今日、この瞬間も世界のどこかで戦争が起こり、誰かの涙が流れているかもしれません。

そんな、戦争が当たり前で起きている世の中を、私たちは生きています。

では、戦争が隣り合っているこの世の中で、自分たちにできることは何でしょうか。

私が小学校6年生の時にいった修学旅行で出会った語り部さんが、そのことについておっしゃられた話が、私の中に強く残っています。

戦争がある中で、自分たちに出来ること。それは、世界中の人と友達になることです。最初は、一人二人、そこからその人の友達、またその友達、そして、また、その友達と、多くの人と手を取り合って、繋がることのできたら、戦争は自然になくなっていくと、語り部さんは、おっしゃられていました。

私が、この話を聞いて思ったことは、友達は自分にとってかけがえのないもの。もし、けんかをしてお互いが傷ついても、必ずまた手を取り合います。だから、世界中の人と友達になったら、全員が手を取り合い、一つの大きな輪を作ることができます。そうなったら、世界中が平和になると私は思いました。

戦争は、相手の立場にたって考えないことや、周りの人の影響で起こると思います。

でも、それは、世界中の人と友達になることで、減らすことはできます。

だから、私は、まず目の前にいる人と繋がって、最後には多くの人と友達になりたいです。

そして、戦争により悲しむ人を少しでも減らせるように、戦争をなくすため、自分にできることをしていきたいです。